

平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	環境未来都市の推進に必要な経費		担当部局庁	政策統括官(経済財政分析担当)		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	地域活性化推進室		参事官 大滝昌平	
会計区分	一般会計		施策名	6-⑥ 環境未来都市の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等	新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「環境未来都市」構想は、新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)の21の国家戦略プロジェクトの一つとして位置付けられた施策であり、限られた数の特定の都市・地域を環境未来都市として選定し、そこで環境や超高齢化等の点で優れた成功事例を創出するとともに、それらの国内外への普及展開を図るもの。本事業は、「環境未来都市」構想を実現するため、環境未来都市の取組を推進することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	平成23年度中に環境未来都市を選定した上で、次の事業を実施する。 ・選定した環境未来都市において、成功事例の創出に資するよう具体的な取組内容等を整理した計画を策定するとともに、各環境未来都市が創出する成功事例の国内外への普及展開の加速化を図るために「環境未来都市」構想全体の普及啓発を行う。 ・選定した環境未来都市において、先端的な技術・サービスを複合的に用いる等の先導的な取組についてモデル事業として支援(1/2補助)するとともに、各環境未来都市が行う自らの取組内容等に係る国内外への普及啓発事業への支援(2/3補助)を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	-	1,135	1,147
		補正予算	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-		
		計	-	-	-	1,135	1,147
		執行額	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	選定した環境未来都市が策定する計画のフォローアップの結果、「目標を上回っている」「目標どおり」に該当する評価の環境未来都市の割合70%以上	成果実績		-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	平成23年度新規事業のため未定	活動実績(当初見込み)		-	-	-	-
単位当たりコスト	(円/)	算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	環境未来都市構想推進事業委託費(環境未来都市事業計画策定費)	75	25	全体計画策定費の削除及び個別計画策定の対象都市数の減			
	環境未来都市構想推進事業委託費(環境未来都市普及啓発事業)	10	31	国際的なネットワーク構築のための国際会議の開催にかかる費用の増			
	環境未来都市構想推進事業委託費(環境未来都市普及展開支援事業委託費)	0	31	環境未来都市の成果を国内外に普及展開するための環境整備に係る費用の増			
	環境未来都市先導的モデル事業費補助金(環境未来都市普及啓発事業)	50	60	補助対象都市の増			
	環境未来都市先導的モデル事業費補助金(環境未来都市先導的モデル事業)	1,000	1,000				
	計	1,135	1,147				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	23年度新規事業ということで、記載できる項目は少ないが、適切な執行のために注意深く進めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などにより、予算の効率的執行に留意すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
予算の執行に際しては、事業の適切な進捗管理、契約における競争性の確保などに留意し、予算の効率的な執行を行う。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			